

2022年度 神戸ベルエッセル美容専門学校
トータルビューティ科ネイリストコース カリキュラム

科目		1年次	2年次	1年2年計	実務経験者が 行う授業	
必修科目	ネイル	ネイル理論	16	18	34	○
		接客販売心理学	34	0	34	×
		ケアカラー	342	0	342	○
		ジェル	158	82	240	○
		スカルプチュア	0	238	238	○
		マシーン	67	84	151	○
		フット	0	24	24	○
		カウンセリング	0	20	20	×
		就職	63	15	78	×
	計	680	481	1161	-	
	実践	特別授業	5	4	9	×
		サロン	2	298	300	×
	※コース選択 (メイク)	メイク理論	30	12	42	×
		メイク技術	132	86	218	×
		サロン	0	40	40	×
		計	162	138	300	-
	※コース選択 (エステ)	エステ理論	46	59	105	×
		フェイシャル	56	18	74	×
		ボディ	60	18	78	×
		脱毛	0	3	3	×
		サロン	0	40	40	×
	計	162	138	300	-	
	選択科目	HR	255	257	512	×
		マナー	60	10	70	×
		研修	30	0	30	×
	合計		1194	1188	2382	

※コース選択はメイク・エステのどちらかを選択。

基本情報			
講義名	ネイル(ネイル理論)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	16	18	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
ネイリスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、ネイルサロン等にて、ネイリストとしての実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なネイルの知識(歴史、爪の構造、手のマッサージ、色彩理論、ネイル技術)、使用する用具用材、機器の正しい使い方を学ぶ。 また、資格取得の対策も行う。
授業の到達目標	ネイルに関する基礎的な知識、ジェルネイルの基礎知識、スカルプチュアネイルの基礎理論、使用機器の正しい使い方等について理解することを目標とする。 資格試験合格するレベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
基礎	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルの歴史・爪の構造と働き ・皮膚・生理解剖Ⅰ・Ⅱ ・マッサージ理論・ツボ理解 ・病気・消毒 ・化粧品学・色彩理論 ・技術体系・ケア手順 ・復習(確認テスト)
ジェル	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルネイル概論、用具用材、技術体系、ジェルネイルの衛生管理 ・ジェルネイル材料の基礎理論 ・ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止 ・復習、確認テスト
マシーン	3	<ul style="list-style-type: none"> ・器具の名称、用途、注意事項 ・確認テスト
スカルプチュア	3	<ul style="list-style-type: none"> ・検定内容 ネイル技術体系、ネイルのための生理解剖学、プロフェッショナリズム、サロン環境、衛生基準と関連法規、スカルプチュア基礎知識 スカルプチュアネイルの仕組み、リキッドパウダーの配合 スカルプチュアネイルの道具
対策	12	試験、検定対策

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ネイル(接客販売心理学)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	34	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	接客心理検定3級・準2級取得に向け、顧客心理を知り、卒業後にすぐに役に立つ販売知識を学ぶ
授業の到達目標	接客心理検定取得

具体的内容		
項目	時間数	内容
オリエンテーション	1	授業の意義目的、授業を受けるにあたっての約束
接客心理とは	1	講師による接客デモンストレーション、接客心理の内容説明、接客心理検定について
ロールプレイング	1	ボディランゲージ、挨拶・笑顔・言葉使い等の説明
コミュニケーション テクニック	6	お客様の心理状況の理解(錯覚・楽な方法をとる心理状況・歪みなど) 実例からの心理状況分析 グループワーク(接客の距離と接客トーク・ラポールの練習) お客様の心理状況の理解(錯覚・楽な方法をとる心理状況・歪みなど) 実例からの心理状況分析、グループワーク(接客の距離と接客トーク・ラポールの練習) 実例からの心理状況分析、グループワーク
情報とコミュニケーション の区分	4	メール、SNS等の非対面コミュニケーションと対面コミュニケーションの情報伝達量、伝達度の違いの理解 接客が最高級スキルであることの証し、満足度と感動を与えることの理解 談話能力・社会言語能力の理解度、コミュニケーションを戦略的に使う接客方法 グループワーク(ロジカルな文章、イメージ文章、グローバル文章とパーソナル文章の作成)
筆記	2	知識の確認
商品属性の研修	6	商品属性の必要性・商品属性名と属性値、トレンド便乗の手法の理解 グループワーク(トレンド商品、属性値、イメージ分析) グループ発表 属性値が創造されるメカニズム、クレームに含まれる属性値と商品改善 お客様の認知とバイアス(歪み)の理解 グループワーク (売れ筋のイメージの絞り込み、類似商品の属性値、新しい属性値創造キャッチコピー作成) 誤解、錯覚、思い込み、バーナム効果
練習問題	1	練習問題を解く(知識の確認)
ブランドを立ち上げる	1	グループワーク(コラージュ作成・修正)
トータル	11	実技試験シュミレーション、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ネイル(ケアカラー)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	342	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ネイリスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、ネイルサロン等にて、ネイリストとしての実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ネイリストとして基本的な技術であるケアカラーについて学ぶ。用具の種類や使用方法、消毒法から爪の形を作るファイリング、爪のケア技術、ポリッシュの塗布技術を相モデル等にて実践的に学ぶことができる。検定対策も行う。
授業の到達目標	ネイルに関するケアについての技術の習得と理論の理解、ポリッシュ塗布技術習得と理解、検定合格レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内 容
検定概要	6	セッティング(ラベルシール・名前シール) 道具(破損・過剰確認、種類・用途・維持方法・注意点) 検定概要(手順)
ハンドトリートメント・パラフィン	3	デモと実践(相モデル)
ファイリング	13	ファイリング(ハンド、チップカッター使用方法、指の支え方、バリの取り方) 爪の形の削り方、オーバル・ポイント 確認テスト
シャイナー	2	デモと実践
プッシャー	1	プッシャー(使用方法、持ち方、支え方、動かし方)
手指消毒～ファイリング～プッシャー	5	手指消毒～ファイリング～プッシャー 確認テスト
ニッパー	5	ニッパー(使用方法、持ち方、支え方、ガーゼの巻き方、動かし方) プッシャー～ニッパーの流れ実践
手指消毒～ファイリング～プッシャー～ニッパー～油分除去	18	手指消毒～ファイリング～プッシャー～ニッパー～油分除去の流れ 相モデル 確認テスト
ポリッシュ	26	クリアファイルの使用でレッスン(使用方法、持ち方、ハケの状態、塗る手順) ハンド使用レッスン(支え方、スキンドアウン、修正、オフ) 自爪、相モデルレッスン、ケア復習
アート	13	描き方(バランス、色彩) 道具の使用方法、筆の動かし方 確認テスト
ケアカラートータル	12	ケア復習 ケアカラートータル(相モデル) 筆記・過去問題 フィードバック、弱点強化
検定対策①	113	試験要項説明 検定筆記試験、実技試験模試 ケアカラートータル(相モデル)
チップラップ	26	工程確認、レッスン(相モデル) 全工程強化(相モデル)、確認テスト
検定対策②	88	ケア・ポリッシュ アート作成(チップ) フィードバック、弱点強化 模擬試験 確認テスト

具体的内容		
項目	時間	内 容
ケア・スクラブ・ マッサージ	7	相モデル
ケアカラートータル	4	期末試験内容

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ネイル(ジェル)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	158	82	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
ネイリスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、ネイルサロン等にて、ネイリストとしての実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なジェルネイルの技術・理論について学ぶ。検定の対策も行い、用具用材・機器の使用方法から基礎知識技術から学び、モデルに応じたバランスまで考えられるような技術者になれるよう授業を行う。
授業の到達目標	ジェルアートの基礎知識の理解・スムーズな除去方法の理解と技術・色々な筆の使い分け・モデルに応じたバランスがとれる技術の習得を目標とする。 検定資格試験合格レベルに到達することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
基本	5	<ul style="list-style-type: none"> ・セッティング(ラベルシール) ・道具(破損・過剰確認、種類・用途・維持方法・注意点・使用方法) ・ジェルネイル概論、用具用材、技術体系 ・ジェルネイルの衛生管理 ・ジェルネイル材料の基本理論 ・ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止
ジェルの塗り方	11	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち方、支え、動かし方、サンディング、ダストオフ、油分除去、ベース、ジェルオフ ・ベース実践 ・トップジェル ・ジェルワンカラー (サンディング、ダストオフ、油分除去、ベース、カラージェル、トップジェル、ジェルオフ)
ジェルカラー	11	<ul style="list-style-type: none"> ・色の比較 ・ベース・カラー・トップの正しいと附 ・ジェルオフ ・確認テスト
ジェルアート	35	<ul style="list-style-type: none"> ・ピーコック、アニマル、ストライプ、ボーダー、チェック、ツイード ・マーブル、タイダイ、たらし込みフラワー、トールペイント ・実践(チップ) ・作品作り、確認テスト
初級	25	<ul style="list-style-type: none"> ・初級概要 ・赤ジェル、ピーコック、ポリッシュ実践 ・オフ、アセトン、実践
ストーン ラメ・ミラー ホイル	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーンデモ、実践(置き方、パーツづくり) ・ラメ、ミラーデモ、実践 ・ホイルデモ、実践
中級グラデーション 中級フレンチ	48	<ul style="list-style-type: none"> ・中級ピンクグラデーションデモ、実践(自分の手、相モデル、ハンド) ・中級フレンチデモ、実践(バランス・ライン取り) ・確認テスト
ホワイトグラデーション	8	・ホワイトグラデーションデモ、実践(自分の手、相モデル)
中級ジェルスカルプチュア	13	<ul style="list-style-type: none"> ・中級ジェルスカルプチュアデモ、実践 ・確認テスト
中級トータル	21	<ul style="list-style-type: none"> ・中級トータルの流れ実践 ・確認テスト
ジェル中級検定	6	・中級検定

具体的内容		
項目	時間	内容
上級 ジェルスカルプチュア フレンチ フラワー	45	・上級ジェルデモ、実践(ハンド、相モデル) ・上級フレンチデモ、実践(ハンド、相モデル) ・上級フラワーデモ、実践(ハンド、相モデル) ・本番シミュレーション
成績		
成績評価の方法・基準		出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ネイル(スカルプチュア)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	238	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ネイリスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、ネイルサロン等にて、ネイリストとしての実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なスカルプチュア(爪の延長・補強等)の理論・技術を学ぶ。基礎知識や理論、技術を学び、ネイルアート(3Dアート等)のデザインに関しても筆使いから作品作成まで行う。
授業の到達目標	スカルプチュア技術に関する基礎知識、フォームの種類を理解、スカルプチュアに適した筆使い、3Dアート、エンボスアートの筆使いの習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ミクスチュアの取り方	2	<ul style="list-style-type: none"> ・スカルプチュア理論、基礎知識復習 ・ミクスチュア取り方実践 ・筆の使い方実践(クリアファイル)
リペア フローター	5	<ul style="list-style-type: none"> ・リペア(フローター、亀裂修正、長さ出し) ・クリアフローター(相モデル)、確認テスト
フリーエッジ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール、スクエアオフの作り方
ハンド フォーム	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドの仕込み方法、フォームの説明、チップの装着 ・フォームのかけ方
スカルプチュア	117	<ul style="list-style-type: none"> ・ナチュラル ・2ボール、4ボールのせ方 ・プリパレーション ・フォームとチップ装着の高さ統一 ・削り方スキндаウン ・フォームとチップ装着のミクスチュアのせ、削り統一 ・フォームとチップ装着の統一 ・タイムトライアル ・模擬試験 ・スタイルの統一 ・確認
ピンチング チップオーバーレイ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンチ、チップオーバーレイ実践 ・ナチュラルチップオーバーレイ
プリパレーション フォーム	3	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーム装着強化 ・プリパレーション、フォームとチップ装着 ・ミクスチュアのせ統一
ファイリング	2	<ul style="list-style-type: none"> ・削り ・フォームとチップ装着のミクスチュア
エンボスアート	5	<ul style="list-style-type: none"> ・筆の使い方、動かし方、パウダーの取り方 ・ドット、フラワー、葉
3Dアート	4	<ul style="list-style-type: none"> ・3Dアート バラ、葉、ツル ・ハート、クマ、キャラクター
ミックスメディアアート	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ミックスメディアアート、フラワー、ベースカラーポリッシュ ・作品作り(自由課題) ・作品作り(ウインター)
ラメグラデーション	18	<ul style="list-style-type: none"> ・ラメグラデーション:オーバル・ポイント(ハンド)グラデーション重視 ・ラメグラデーション:オーバル・ポイント(ハンド)ピンチング ・ラメグラデーションファイリング:オーバル・ポイント(相モデル)スタイリング重視 ・ラメグラデーション通し:オーバル(相モデル)復習

具体的内容		
項目	時間	内容
フレンチスカルプチュア	31	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識 ・スクエアオフフリーエッジ作成(クリアファイル) ・スクエアオフ(ハンド)(相モデル) フリーエッジ強化 ・スクエアオフ(相モデル) フリーエッジ～3ボール、ピンチング ・フレンチスカルプチュア通し:スクエアオフ(相モデル) フレンチライン強化 ・フレンチスカルプチュア通し:スクエアオフ(相モデル) ファイリング・スタイル強化 ・フレンチスカルプチュア通し:スクエアオフ(相モデル) 確認テスト
デザインスカルプチュア	36	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインスカルプチュア基礎知識 ・デザインスカルプチュア:フリーエッジラメグラ→エンボスフラワーアート→クリアのせ オーバル(クリアファイル)(ハンド) ・デザインスカルプチュア通し:オーバル(相モデル) 確認テストテーマ「フラワー」 ・デザインスカルプチュア通し:オーバル・ポイント(相モデル) ラメグラ以外のベースの作り方 エンボスアート自由作成 ・デザインスカルプチュア;オーバル(相モデル) テーマ「フラワー」
成績		
成績評価の方法・基準		出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ネイル(マシン)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	67	84	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ネイリスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、ネイルサロン等にて、ネイリストとしての実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ネイル技術で使用する機器に関する基礎知識、安全な使用方法・取り扱い、消毒管理について学ぶ。ジェルやスカルプチュアの除去、ジェルやスカルプチュアの仕上げ等、ネイルで使用する機器に関して必ず必要な基礎知識を習得する。
授業の到達目標	ネイル技術で使用する機器の正しい知識を理解し、ジェルの除去ができる技術の習得、ジェルスカルプ・アクリルスカルプの仕上げ技術を習得することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
基礎知識	1	器具の名称、用途、注意事項
マシンケア	5	・ファイル、Wケア、マシンP、マシンブラシ、ニッパー
マシンジェルオフ	13	・マシンジェルオフ実践(動かしか方、支え方、シルバーカーバイト、アセトン) ・仕込みカラー、マシンオフ
中級ピンクグラデーション マシンオフ・アセトン	4	・実践、相モデル
初級マシンオフ アセトン	2	・実践、相モデル
マシンジェルプリパ	4	・実践(グリーンポイント、サンディングバンド、ベース、ワンカラー、トップ、マシンオフ)
マシンオフ プリパ ジェルアート	32	・実践、相モデル(マシンオフ、グリーンポイント、サンディングバンドファイ、カラー、アート) ・実践、相モデル(マシンオフ、グリーンポイント、サンディングバンドファイ、ジェルオンジェルアート)
マシンケア ジェルオン	24	・実践、相モデル(ファイル、Wケア、マシンP、マシンブラシ、ニッパー、グリーンポイント サンディングファイ、ジェルオンジェルアート)
マシンジェルオフオン	24	・実践、ハンド・相モデル(マシンオフ、サンディングバンドファイ、ジェルオン・アート) ・確認テスト ・実践、ハンド・相モデル(仕込みジェルカラー、ジェルオフ、マシンプレパサンディング ホワイトグラデポイントアート) ・実践、相モデル(仕込みジェルカラー、ジェルオフ、マシンプレパサンディング、ジェルカラー アート)
フットソフトジェルオフ	5	・相モデル
フットータル オフオン・角質	8	・実践相モデル(フットジェルオフ、仕込みジェルカラー、フットケア、角質、スクラブ、 ジェルカラー、親指アート)
アクリルラメ グラデーション	9	・スカルプの削り方(相モデル) ・オーバル ジェルコート仕上げ ・アクリルスカルプの除去
ジェルスカルプ	8	・ジェルの削り方 ・立体ストーンをつける、スクエアオフ ・ジェル除去 ・立体ストーン除去
マシンジェルリペア	12	・実践(ハンド、自分の手、相モデル)

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ネイル(フット)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	24	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ネイリスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、ネイルサロン等にて、ネイリストとしての実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	フットへのネイル技術について学ぶ。爪のケア・カラーだけでなく足部の角質ケアも行い、実際に相モデルになって実践的な授業を行い技術を向上させる。
授業の到達目標	フットのケア・カラーについての基礎技術を習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
基礎知識	2	・フット基礎知識(セッティング、メンテナンス、消毒法、座り方、姿勢)
フットケア・ケアカラー	22	<ul style="list-style-type: none"> ・フットケア(ファイル、マシンブッシヤー、ニッパー) ・角質(マシン、ビューティーフット) ・スクラブ ・ポリッシュカラーリング ・ジェルカラーリング ・フットジェル、ジェルアート

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ネイル(カウンセリング)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	20	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
—	—

授業内容	
授業概要	基本的な接客技術からお客様からの要望を聞き出しその結果を加味した提案を行えるよう、現場で必要な技術を学ぶ。カウンセリングシートの作成や入店～退店までのシミュレーション、電話対応等をこなせるよう授業を実施する。
授業の到達目標	入店から退店、電話対応をスムーズにこなせるようになること、お客様の悩みを聞き出せる、要望に合わせた提案をできる力を身に付ける。 接客のプロとして現場に立てる技術を身に付けることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
電話対応	3	電話対応のやり方 電話対応シミュレーション 電話対応クレーム対応
カウンセリングシート	2	カウンセリングシートの書き方説明 カウンセリングシート記入
入店シミュレーション	2	入店からメニュー決定までの流れ・シミュレーション
入店～退店	2	入店～退店まで流れ・シミュレーション
全工程のシミュレーション	11	入店からメニュー決定～退店 カウンセリングシート記入

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	就職	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	63	15	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
—	—

授業内容	
授業概要	希望する就職先に入る為の就職活動をする上での対策・マナーの学習はもちろんのこと、自分の将来を考えた上での企業の選定方法や選定する上で気を付けなければならないことを学ぶ。
授業の到達目標	生徒が持っている将来像をはっきりとしたものにさせ、その将来像を目指すにあたっての企業選定や、就職活動をする上での対策やマナー等を習得させ、より良い就職をさせることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
業界について	1	・美容業界の仕事・職種について、体験談
就職活動の流れ	1	・就職活動のスケジュール
インターンシップ・アルバイト	1	・参加の意義、準備
キャリアプランニング①	2	・キャリアプランニングとは、キャリアプランニングシート
自己分析	2	・自己分析とは、シート作成、人前で話す練習
企業研究①	2	・企業研究とは、志望動機とは
インターンシップ	1	・エントリーシートの書き方
情報収集	1	・SNSと就職活動
就活サイト	2	・説明、登録
応募書類①	1	・必要書類、履歴書の書き方
面接試験①筆記試験①	2	・面接試験、筆記試験を知る、SPI対策
キャリアプランニング②	1	・キャリアプランニングシート作成
求人の見方	2	・情報収集の仕方、用語
企業研究②	2	・業界企業の特徴、志望動機作成等
応募書類②	10	・添え状、封筒、履歴書
面接対策①	8	・集団面接、模擬面接
チップ作成	12	・企業に合わせたチップ作成
証明写真	2	・証明写真について
キャリアプランニング③	1	・キャリアプランニングシート作成
応募書類③	4	・履歴書作成
面接対策②	7	・集団面接、模擬面接、弱点強化
企業研究③	2	・志望動機作成
面接対策③	8	・集団面接、模擬面接、弱点強化
フォローアップ	2	・内定先企業調査
卒業前教育	1	・社会人としての意識

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	実践(特別授業)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	5	4	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	SNSブランディング・OBOGセミナー・校内ガイダンス
授業の到達目標	SNSの正しい使い方の理解・業界で活躍する卒業生の話聞き、美容業界で働くことのイメージ・企業説明会、就職活動のイメージができるようになる。

具体的内容		
項目	時間数	内容
SNSブランディング	2	SNSの効果的な使い方、正しい使い方
OBOGセミナー	4	業界で活躍する卒業生
校内ガイダンス	3	興味のあるサロンの方々のお話を聞く

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	実践(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	2	298	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	自コースのサロン実習の授業を行う。 必修科目で学ぶネイル技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン説明	4	サロン実習の概要説明 メイク・エステ・ネイルコースごとのサロン内容説明
サロン基礎	8	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン概要説明 ・オープンからクローズまでの1日の流れの理解 ・身だしなみ、挨拶、接客用語、立ち居振る舞い ・売上目標、入客目標、店販売上の理解 ・受付表、伝票などの書類の書き方 ・レジの使用方法 ・カウンセリングシート、メニュー内容、時間、金額の理解 ・お出迎え、お見送りの仕方 ・電話の出方(ロールプレイングの実施) ・PC入力方法
カウンセリング基礎	10	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の状況に合わせた提案の仕方 ・理論に基づいた提案の仕方→単価アップ ・効果的な来店ペースの促し方→客数アップ ・効果的なホームケアアドバイス →効果の持続、店販売上アップ ・ロールプレイング ～来店→技術→退店～ ・ロールプレイング ～商品販売の仕方～
サロンシミュレーション	5	<ul style="list-style-type: none"> ・売上目標、入客目標、店販うりあげの把握 ・受付表、伝票 ・復習
実習確認	2	<ul style="list-style-type: none"> ・起こりうる事態の予想と対策 ・仕事内容の理解、役割
カウンセリング応用	6	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様のニーズ別の販売の仕方 ・ビフォーアフターカウンセリング ・ロールプレイング
サロン技術強化	6	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の不安点、弱点強化
接客応用	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各自問題を解く ・グループで自身の回答の発表をし合いグループで1つの回答を作る ・グループの回答発表 ・クレーム対応マニュアル解説

No.	具体的内容	
	項目	内容
接客テスト	12	・接客テスト
交流授業	6	・サロン実習シミュレーション
復習	6	・サロン復習
プレサロン	12	・友人や他学年をお客様としサロン実習の実施
プレサロン改善会議	4	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定
サロン実習	175	・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	40	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。
------------	---

基本情報			
講義名	コース選択メイク(メイク理論)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	30	12	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	化粧品についての知識、皮膚の構造、メイクアップデザインやスキンケア理論の授業を実技授業との連動性を持たせより実践的に行う。 技術力の向上、就職後の接客技術、カウンセリング技術にも応用できる授業を行う。
授業の到達目標	メイク技術及び接客技術の実践で活かせる、化粧品・メイク理論・皮膚、骨格・色に関しての正確な知識及びメイクアップデザイン理論を学び習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ベーシックセオリー スキンケアコンセプト 皮膚知識 スキンケアテクニック	2	化粧品の定義、スキンケアの必要性、化粧品の名称、用途、特徴と取り扱いの理解 3ステップによるスキンケアシステム 皮膚の構造と働き スキンケアテクニックの役割、順序、実技用具ポイント
ポイントクレンジング	2	リップクレンジング アイメイククレンジング
ベースクレンジング	2	オイル塗布、オイルの乳化 拭き取り(板書、手技、手順、注意点)
トーンング	2	ローショントーンング(板書、手技、手順、注意点) クリームトーンング(板書、手技、手順、注意点)
アンダーベース	2	板書、手技、手順、注意点、テクニックの提示(ウィッグにて)
ファンデーション、コン シーラー、パウダー	2	板書、手技、手順、注意点
ハイライト・ローライト	2	ノーズシャドー、アイシャドー、ハイライト(板書、手技、手順、注意点) 確認テスト 20分 (ベーシックセオリー～ローライトまで)
ポイントメイクアップ	4	リップ、アイシャドー、アイライン、アイラッシュ、アイブロー、チーク、ハードフォーミュラの削り方 板書、手技、手順、注意点
メイクアップ	2	・カラー 色の三属性、トーン、配色、カラーカウンセリング
検定対策	10	検定筆記対策
メイクアップデザイン	12	デザインシート記入の注意点、言葉の表現、色の付け方 デザインシート作成(キュート・フレッシュ・クール・エレガント)

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択メイク(メイク技術)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	132	86	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	メイクに関する一連の技術(スキンケア、クレンジング、メイクアップ)を学ぶ。一般的な基礎技術はもちろんのこと、イメージ別のメイク技術、舞台メイク等を学ぶ機会を与え、メイクに対する興味を深めそのことにより技術の幅を広げる授業を実施する。 検定の検定取得対策も実施する。
授業の到達目標	スキンケア、クレンジング、ベース～ポイントメイクの習得や、お客様一人一人にあったメイク、それぞれのシーンにあったメイクの提案をしそれを具現化できるところまで完結できる、より実践的な技術レベルへの到達を目標とする。 また、検定の取得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
技術者としての身だしなみ	1	<ul style="list-style-type: none"> 技術者としての心得を理解、意識付け 姿勢、身だしなみについて
セッティング	6	<ul style="list-style-type: none"> 道具の名前シール貼り(シールを用意させ、貼らせる) セッティング説明、並べてみる(最終15分以内完成) 相モデルにてセッティングシェーブをかける、ダッカールで髪止める、立ち位置、姿勢 セッティング、姿勢、身だしなみの復習 確認テスト セッティング15分タイム取り
スキンケアテクニック	30	<ul style="list-style-type: none"> リップクレンジングテクニックレッスン アイメイククレンジングのテクニックレッスン リップ、アイメイククレンジングのテクニックレッスン ベースクレンジングテクニック ベースクレンジングの流れのテクニックレッスン オイル乳化のテクニックレッスン 拭き取りのテクニックレッスン ベースクレンジング、乳化、拭き取りレッスン ローショントナーニングテクニック クリームトナーニング、ティッシュオフテクニック 相モデルにてレッスン、クリームトナーニング～ティッシュオフ ポイントクレンジング～クリームトナーニング相モデル 確認テストポイントクレンジング～ティッシュオフまで
メイクアップテクニック	52	<ul style="list-style-type: none"> アンダーベース ファンデーションテクニック フェイスパウダー アンダーベース～フェイスパウダー ノーズシャドーのフィンガーワーク、手順 アイシャドーのフィンガーワーク、手順 ハイライトのフィンガーワーク、手順、テクニック ポイントクレンジング～ハイライト リップブラシ(持ち方、手順) アイシャドー(持ち方、手順) アイラインペンシル(持ち方、手順、テクニック) アイラッシュカーラー(使い方、持ち方、マスカラの塗り方、テクニック) アイブロウ(ハードフォーミュラーの削り方、相モデル) チークメイクアップ(入れる場所の理解、ブラシの持ち方、描き方、相モデル) リップ、アイシャドー、アイライン、アイラッシュカーラー、マスカラ、チーク 相モデル 確認テスト クレンジング～スキンケア、ベース～フルメイク相モデル

具体的内容		
項目	時間	内 容
リタッチ	3	・リタッチテクニック
カラーカウンセリング	33	・モデルの肌色からカラーベースを判断しカラーを決定 ・モデルの肌色からカラーベース相モデルレッスン ・確認テスト
検定内容①	60	・「キュート」「フレッシュ」「クール」「エレガント」 手技、テクニック、フルメイク相モデルレッスン ・確認テスト
トレンド①	5	・現在のトレンド説明、デモ ・相モデルレッスンチェック
舞台メイク(キャッツ)	28	・特徴説明、デモンストレーション ・相モデル実習、確認、チェック、修正、キャッツメイク応用デザイン
成績		
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。	

基本情報			
講義名	コース選択メイク(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	40	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	コース選択メイクのサロン実習の授業を行う。コース選択メイクで学ぶ技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン授業	24	・サロン実習に必要な知識、技術接客の確認
サロン実習	12	・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	4	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	コース選択エステ(エステ理論)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	46	59	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	エステティックに必要な基礎的な知識・理論を学ぶ。エステの歴史や皮膚科学、栄養学、化粧品学、救急法、カウンセリング技術、サロンマネジメント等を学び技術や接客において実践的に活かせる知識を得られる授業を実施する。
授業の到達目標	エステティックの知識・理論を理解し、それをエステ技術や接客、サロンマネジメントにまで活かせるレベルに到達することを目標とする。 また、取得資格合格レベルの知識の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内 容
概要	1	説明、検定の概要
エステティック概論の理解	2	エステティックとは、セラピーの起源と定義 各国のエステティック
セルフケア ホームケア	1	セルフケア・ホームケアについて(ボディ編、フェイシャル編)
ボディ実技理論	4	ボディケアの組み立て、ボディケアの基礎
フェイシャル実技理論	4	フェイシャルケアの組み立て、基本テクニック
皮膚科学	14	皮膚の構造 皮膚の生理機能美しい肌のために 肌の老化とケア トラブル肌と皮膚疾患
解剖生理学	16	人体のあらまし、細胞・組織・器官、免疫 骨格系、筋系の解説 神経系、感覚器系 消化器系、呼吸器系 循環器系、血液 内分泌系、泌尿器系、生殖器系
心身生理学	4	脳のこと、ホメオスタシス、免疫 ストレス、心と肥満の関り、スキントッチの効果
運動生理学	4	運動の必要性、筋肉・呼吸器・循環器と運動 代謝と運動、運動処方、運動の実際
化粧品学	6	化粧品の定義と役割基礎化粧品 メイクアップ化粧品ボディケア化粧品 頭髮頭皮用化粧品芳香化粧品 化粧品の原料
栄養学	7	栄養学の基礎知識 「何をどう食べるか」を知るために 食品パワーの新しい可能性とその利用
エステティック カウンセリング	4	エステティックカウンセリングの基本 カウンセリングの実際
サロン マネジメント	4	エステティック業の役割 サロン繁栄のための顧客管理 サロンマネジメント
エステティック 電気学・機器学	4	エステティック機器、電気学の原理 生体と電気の関係

具体的内容		
項目	時間	内 容
エステティック 関連法規	6	エステティシヤンの仕事と法律、契約 エステティック業界の自主基準
サロンでの救急法 サロンでの衛生・消毒	8	救急法の基礎知識 主な症状の手当と事故・けがの手当 公衆衛生 病原微生物 感染症
美容脱毛学	4	美容脱毛概論、毛髪学概論、毛の成長因子と美容脱毛 美容脱毛における衛生管理、カウンセリング、ワックス脱毛実技
検定対策	12	これまでの復習 模擬試験

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択エステ(フェイシャル)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	56	18	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	フェイシャルエステティックにおける、カウンセリング技術や基本的なフェイシャルエステ技術、使用する機器の効果や安全な使用方法を学ぶ。 また、検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	カウンセリング・化粧品・肌別の対応知識の理解と習得、使用する機器を正しく扱えること・その効果や安全に使用方法の理解を習得することを目標とする。 検定合格レベルの技術の理解と習得。

具体的内容		
項目	時間	内容
フェイシャル カウンセリング	5	・肌質・体質判断 カウンセリングの注意点、手順、相モデル
・ポイントクレンジング ・スポンジ ・ホットタオル	14	・クレンジングの手技 ・ポイントクレンジング、クレンジングの注意点、手順、デモ、レッスン ・スポンジ、ホットタオルの取り扱い 注意点・手順・デモ・レッスン ・クレンジングふき取りチェック ・確認テスト
・ポイントクレンジング ・クレンジング ・フェイシャルトリートメント ・拭き取り ・整肌	16	・クレンジング復習 ・6種類の基本手技を理解と手順 軽擦法、強擦法、揉捏法、打法、圧迫、振動法、デコルテの注意点・デモ・レッスン・チェック ・クレンジングのふき取りチェック ・整肌の方法デモ・レッスン・チェック
パック	4	・パックの理解と手順 パック粧材の説明 パック塗布の注意点・手順・デモ・レッスン・仕上がりチェック パックふき取り 注意点・手順・デモ・レッスン・ふき取りチェック 確認テスト
・ポイントクレンジング ・クレンジング ・フェイシャルトリートメント ・パック ・カウンセリング ・拭き取り ・整肌	15	・流れを理解 カウンセリングシートの記入 ポイントクレンジング～拭き取りまでのタイム取り クレンジングの拭き取りチェック パックのタイム取り パックの仕上がり、拭き取りチェック 整肌のチェック
検定対策・模擬試験	8	・手順の復習 ・手技の最終チェック ・模擬試験(本番同様の流れ)

具体的内容		
項目	時間	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントクレンジング ・クレンジング ・フェイシャルトリートメント ・パック ・カウンセリング ・拭き取り ・整肌 (サロンレベル) 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンレベルに向けてレッスン ポイントクレンジング→クレンジング→カウンセリング→トリートメント→パック ホットタオル拭き取り、ドレーピング、ターバンの徹底チェック 整肌のチェック 手技の最終チェック ・カウンセリング

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択エステ(ボディ)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	60	18	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ボディに対するエステティックにおける、カウンセリング技術や基本的なボディエステ技術、使用する機器の効果や安全な使用方法を学ぶ。 また、検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	カウンセリング・化粧品・肌別の対応知識の理解と習得、使用する機器を正しく扱えること・その効果や安全に使用する方法の理解を習得することを目標とする。 検定合格レベルの技術の理解と習得。

具体的内容		
項目	時間	内容
教材確認	3	・教材チェック・名前記入、エステ着・ナースシューズ試着
基礎	3	・エステの仕事の紹介 ・ベッド・ワゴンセッティングの説明 ・タオルの畳み方、ホットタオルの作り方
下肢後面トリートメント	18	・手技の理解と手順を覚える ドレーピングの注意点・デモ・レッスン・チェック・ボディケアの基本 下肢後面トリートメントの注意点、デモ、レッスン、チェック ホットタオル拭取りの注意点・デモ・レッスン・チェック、確認テスト
腰背部・肩・上腕トリートメント	8	・手技の理解と手順を覚える ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底 腰背部・肩・上腕注意点・デモ・レッスン、確認テスト
ボディカウンセリング①	2	・肌質・体質判断、アドバイスを行う(カウンセリングの注意点、手順、相モデル)
下肢前面トリートメント	6	・手技の理解と手順を覚える ・下肢前面の注意点・デモ・レッスン・チェック ・ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底、確認テスト
上肢・腹部トリートメント	7	・手技の理解と手順を覚える ・上腕・腹部の注意点・デモ・レッスン・チェック ・ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底、確認テスト
全身トリートメント	10	・手順の復習(下肢後面→腰背部・肩→下肢前面→上腕→腹部のトリートメント) ・ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底、チェック
ボディカウンセリング②	3	・肌質・体質判断、アドバイスを行う(カウンセリングの注意点、手順、相モデル)
模擬試験	4	・本番同様の流れ
カウンセリングボディ	2	・サロンでのカウンセリング方法の理解
カウンセリング全身トリートメント(サロンレベル)	12	・サロンレベルに向けてレッスン

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択エステ(脱毛)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	3	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	エステティックにおける脱毛技術、知識を脱毛学から手技の技術習得、機器の正しい使用方法等の授業内容から学ぶ。
授業の到達目標	エステティックにおいて重要な、脱毛の知識の理解、ワックス脱毛・光脱毛技術の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
美容脱毛	3	美容脱毛学の理解、美容脱毛学実技理論の理解 ワックス脱毛のデモ、例題集実施、解答・解説、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択エステ(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	40	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	コース選択エステのサロン実習の授業を行う。コース選択エステで学ぶ技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン授業	24	・サロン実習に必要な知識、技術接客の確認
サロン実習	12	・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	4	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	マナー	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	
	60	10	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	サービスに対する心構えや顧客心理の理解、応対の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどを学ぶ。職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	サービス接客検定合格。 卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
サービススタッフの資質	4	サービススタッフに求められる資質
専門知識	4	サービスの現場における行動
一般知識	3	サービス業で使うことわざ・慣用語、季節行事と食べ物・カタカナ用語
対人技能	4	接客用語、敬語の記述問題
実務技能	4	掲示物の書き方・イラスト問題、クレーム対応、社交業務
理論編復習	3	理論編確認テスト実施、解説と解答
実技編復習	3	実技編確認テスト実施、解説と解答
直前対策	4	模擬テスト、解説と解答
面接対策	5	面接の審査基準とポイント、面接の流れ、部分動作の練習 面接シミュレーション
主体性 I	3	定義(物事に進んで取り組む力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
主体性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
実行力 I	3	定義(目的を設定し確実に行動する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
実行力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
柔軟性 I	3	定義(意見の違いや立場の違いを理解する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
柔軟性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
課題発見力 I	3	定義(現状を分析し目的や課題を明らかにする力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
課題発見力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
ストレスコントロール力 I	3	定義(ストレスの発生源に対処する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
ストレスコントロール力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
創造力 I	3	定義(新しい価値を生み出す力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
創造力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

